

留学に来て驚いたこと

神谷 俊之

まず最初に学校に来て驚いたことは、色々な国から留学生が山西大学へ留学に来ていたことです。アメリカ人、フランス人、アルメニア人、オーストラリア人、韓国人、タイ人、イスラエル人、タジキスタン人、ドイツ人など、たくさんの方の国の留学生と知りあうことが出来ました。私は日本の大学で英語を専攻しているので彼らと会話をするときにはほとんど英語です。しかし留学生の半分ぐらいが1年や2年中国に留学していた経験があるので英語と中国語をすでに使いこなしている学生も多々います。私は中国語がまだまだ使えていないのでレストランに行くときや買い物に行くときはいつも彼らに頼ってばかりです。しかし、すべて頼ってばかりだと自分の中国語が成長しないので分からなかったときは友達に聞いて答えられる質問などは自分で答えるように努力しています。

二つ目に驚いたことは今私が住んでいる太原が意外と都会だということです。私は留学に行く前にこれから住む太原とはどういう街なのかインターネットで色々調べました。しかし、太原の情報をあまり入手することができませんでした。自分は旅行が好きでいつも旅行に行く前にどんな街か、食べ物は何が有名かなどを入念に調べるのですが太原の場合情報がほとんどなかったので少し不思議な感じがしました。しかし実際に太原に来てみてとても都会で何も不自由がなくこの1ヶ月間暮らしてみて太原もなかなか良い街だなと思いました。

最後に反日デモについてです。私が留学して2週間ぐらいたった時に中国各地で反日デモが起こりました。太原でも反日デモが起きたそうです。反日デモが起きた時はとても驚きました。なぜなら多くの中国人はとても親切だからです。今はもう反日デモは収まりましたが安全のために「あなたは何人ですか？」と聞かれた時は日本人と答えないようにしています。

この1ヶ月間はとても内容が濃い1カ月だと思いました。これからは中国語を積極的に使っていきたいと思います。



大学内の虹と毛沢東を映しました



忻州に行った時の写真